

平成 20 年 5 月 16 日

ユニチカファイバー(株)と、ドイツトレビラ社の事業提携

ユニチカファイバー株式会社  
トレビラ社

このたび、ユニチカファイバー(株)と、ドイツトレビラ社は戦略的パートナーとして、事業提携することとなりました。

食品の安全性が厳しく問われる中、繊維製品に対する安全性が注目されつつあります。染色、加工剤などに対する健康被害などが報道される昨今、難燃性繊維に対する関心も高まってきています。既に欧米各国では、難燃繊維に関する意識は高く、高度の難燃材使用の繊維製品が広がっています。

トレビラ社が保有する「トレビラCS」ブランドは、ドイツ、フランスでは、世界で最も厳しいといわれる難燃規格をクリアし、安全で確かな機能を持つブランドとして確固たる地位を築いており、インテリア市場のほぼ98%の占有率を誇っています。

ユニチカファイバー(株)は、差別化素材、特殊素材の開発・生産・販売における実績とノウハウを生かし、トレビラ社の保有する「トレビラCS」ブランドの更なる展開を担う、戦略的パートナーとして提携いたしました。

提携により、トレビラ社が保有する難燃樹脂技術と、ユニチカファイバー(株)の繊維紡糸加工技術を駆使し、これまでにない全く新しい繊維の開発を共同で着手致します。既に、技術交流の成果も確認しており、一部新開発品を市場に導入できるところまで進んできました。

また、トレビラ社の持つ生産能力の一部をユニチカファイバー(株)岡崎工場、日本エステル岡崎工場(愛知県岡崎市)へ移管しており、将来的には、「トレビラCS」ブランドにおける特殊素材については、トレビラ社のアジア基幹をユニチカファイバー(株)が担うレベルまで戦略的提携を積み重ねてまいります。

「トレビラCS」の特長

トレビラ社の独自技術によりポリエステルを変性させることで高度な難燃性を発現させた。繊維の表面加工ではなく、繊維そのものが高い難燃性能を有する。一般的に使用されるハロゲンまたは窒素を含む合成物や有害物質は使用していない。(Oeko-Audit 認証済み)

難燃性能が永続的に続く

加熱時に有害ガスの発生がほとんどなく、発煙も少ない  
優れた耐久性、耐摩耗性、耐光性、発色性のある光沢感  
リサイクルが可能

トレビラ (Trevira) グループ概要

代 表 Jorg Hellwing(CEO)

本社所在地 ドイツ ポーピングェン

売 上 高 約 3 億 2,900 万ユーロ (2006 年)

従業員数 約 1,900 名 (2007 年 2 月現在)

Reliance Industries (インド) グループの 1 社